

## 4 「神奈川の戦略」の取組状況

超高齢社会や人口減少社会への対応など非常に大きな課題を乗り越えるために、重点施策を分野横断的にとりまとめたプロジェクトを、さらに複合的に実施する取組みとしてまとめた「神奈川の戦略」の取組状況です。

神奈川の戦略とその構成プロジェクトは、以下のとおりです。

## ヘルスケア・ニューフロンティアの推進

### 構成プロジェクト

プロジェクト1	未病	プロジェクト2	医療	プロジェクト3	高齢者福祉
プロジェクト4	障がい者福祉	プロジェクト6	産業創出	プロジェクト7	海外展開
プロジェクト16	スポーツ	プロジェクト18	地域活性化		

## ロボットと共生する社会の実現

### 構成プロジェクト

プロジェクト1	未病	プロジェクト2	医療	プロジェクト3	高齢者福祉
プロジェクト4	障がい者福祉	プロジェクト6	産業創出	プロジェクト11	減災
プロジェクト12	治安	プロジェクト23	都市基盤		

## 「グローバル戦略」の推進

### 構成プロジェクト

プロジェクト7	海外展開	プロジェクト8	観光	プロジェクト9	マグカル
プロジェクト15	教育	プロジェクト16	スポーツ	プロジェクト19	多文化共生

## 地方創生の推進

### 構成プロジェクト

プロジェクト6	産業創出	プロジェクト8	観光	プロジェクト10	農林水産
プロジェクト13	男女共同参画	プロジェクト14	子ども・青少年	プロジェクト17	雇用
プロジェクト18	地域活性化	プロジェクト23	都市基盤		

## オリンピック・パラリンピック

### 構成プロジェクト

プロジェクト4	障がい者福祉	プロジェクト8	観光	プロジェクト9	マグカル
プロジェクト12	治安	プロジェクト16	スポーツ	プロジェクト19	多文化共生
プロジェクト23	都市基盤				

## ヘルスケア・ニューフロンティアの推進

### これまでの主な取組み

- 「未病サミット神奈川 2015 in 箱根」(2015年10月開催)において、「未病サミット神奈川宣言」を採択し、未病コンセプトを世界に向けて発信しました。
- 未病産業の魅力を高め、産業化の牽引を図るため、トップランナーとなる商品・サービスを県が認定する制度である「ME-BYO BRAND」を創設し、認定しました(3件)。
- 再生・細胞医療の産業化拠点を形成するため、川崎市殿町地区に「ライフイノベーションセンター」(2016年4月供用開始)の整備を進めるとともに、再生医療等製品や革新的医薬品などの実用化促進のための支援を行う「かながわクリニカルリサーチ戦略研究センター」の事業を開始しました。
- 県民や企業など、さまざまな主体が効果的に健康情報等を活用する「ヘルスケアICTシステム」を構築し、そのアプリケーションとなる「マイME-BYOカルテ」を通じ、個人が自らの健康情報等をチェックし、心身の状態の維持・改善に取り組むための実証事業を開始しました(2016年3月)。
- ヘルスケア・ニューフロンティアのさらなる国際展開に向けた協力体制を構築するため、ライフサイエンス分野における海外機関との覚書(MOU)の締結、世界保健機関(WHO)等海外機関と連携した共同シンポジウムの開催や、WHO及び海外のMOU締結地域からの未病サミットへの参加により交流を深めました。

### 今後の取組み

- 「未病サミット神奈川宣言」を踏まえ、未病を基軸に、新たなヘルスケア・社会システムの構築に向けた取組みを推進します。
- 川崎市殿町地区において「ライフイノベーションセンター」を中心とした再生・細胞医療の産業化拠点の形成を図ります。
- 個人が自らの健康情報などをチェックし、心身の状態の維持・改善に取り組む行動変革を促進するための未病の科学的エビデンスの確立や、効果的に健康情報等を活用できるようにするための「マイME-BYOカルテ」を中心とした「ヘルスケアICTシステム」の構築に取り組めます。
- CHO構想のより一層の普及・拡大のため、CHO構想を実践するためのセミナーの開催や、CHOコンソーシアムへの参加企業の拡大、全国健康保険協会等の保険者との連携など、CHO構想導入を積極的に後押しします。
- 国際的医療人材の養成のため、神奈川県立保健福祉大学大学院への新研究科(公衆衛生学)の設置に向けた準備を進めます。
- ヘルスケア・ニューフロンティアを国際的な視野で推進する人材の育成などのため、世界保健機関(WHO)と連携した取組みを推進します。

## ロボットと共生する社会の実現

### これまでの主な取組み

- 企業や大学などが持つ技術・資源を活用した共同開発のコーディネートや、早期の商品化が期待できる案件の重点的な支援を行いました。
- 実証会場やモニターの紹介、実際の利用状況に近い環境を用意したプレ実証フィールドを運営し、ロボットの実用化に欠かせない実証実験の促進に取り組みました。
- ロボットを実際に体験できる機会の創出や、現場におけるロボットの導入促進など、ロボットの普及・定着を推進しました。
- ロボットと共生する社会について検討するため、「ロボット共生社会推進検討会議」を設置（2016年1月）し、外部専門家による検討を開始しました。
- 「さがみロボット産業特区」にロボット関連産業の集積を進めるため、インベスト神奈川2ndステップ・プラスによる産業集積支援事業の認定を行いました（3件）。

### 今後の取組み

- 共同開発のコーディネートや、早期の商品化が期待できる案件の重点的な支援により、引き続きロボットの商品化、実証実験の促進に取り組みます。
- 現場におけるロボットの導入促進のための取組みを拡充します。
- 「ロボット共生社会推進検討会議」を開催し、検討結果をまとめていきます（2016年8月頃までに6回程度）。
- 新たな企業誘致施策「セレクト神奈川 100」を推進し、県外・国外からロボット関連企業の誘致を促進します。

## 「グローバル戦略」の推進

### これまでの主な取組み

- 県内中小企業の海外展開支援を図るため、海外進出セミナーなどを開催(9回)したほか、外国企業の誘致を図るため、無料スタートアップオフィス「IBSCかながわ」や外資系企業向けレンタルオフィスの提供などに取り組みました(10社誘致)。
- ライフサイエンス分野での協力などに関する海外機関との覚書(MOU)の締結(4か国5件)や、世界保健機関(WHO)等海外機関との共同シンポジウムの開催、WHO及びMOU締結地域からの未病サミットへの参加により連携体制を強化しました。
- 芸術を介した海外との相互交流を育むため、国内外から美術分野のアーティストを招聘した「西湘地区アーティスト・イン・レジデンス」を実施しました。
- 開発途上地域などから政策研修員及び海外技術研修員を受け入れ、国際的なネットワークを形成、拡大しました。
- 経済連携協定に基づき入国した外国人看護師・介護福祉士候補者の国家試験合格の支援を行いました。
- 医療現場への通訳派遣や、かながわ国際ファンクラブの活動を通じた留学生の支援、また、「あーすフェスタかながわ 2015」を実施し、多文化理解の促進を図りました。

### 今後の取組み

- 民間企業や関係機関などとの連携により、神奈川インダストリアルパークを活用するなどして、きめ細かに海外展開支援を実施します。
- 「セレクト神奈川 100」を活用して外国企業の誘致活動を実施します。
- ヘルスケア・ニューフロンティアを国際的な視野で推進する人材の育成などのため、世界保健機関(WHO)と連携した取組みを推進するとともに、海外機関との覚書(MOU)などにより構築した協力体制を活用し、各機関と連携した事業展開を行います。
- 引き続き、芸術を介した海外との相互交流や地域におけるアートの拠点を県内各地で育むため、県内各地で国際的なアーティスト・イン・レジデンスを実施します。
- 政策研修員及び海外技術研修員の招聘を継続的に実施するとともに、かながわ国際ファンクラブ事業をより効果的に実施することで、人的ネットワークの拡充を図ります。
- 引き続き、経済連携協定に基づき入国した外国人看護師・介護福祉士候補者の国家試験合格の支援を行います。生活や安全・安心に関する問い合わせに多言語で応じる「多言語支援センターかながわ」を立ち上げ、多文化共生社会の実現を図ります。
- グローバル戦略については、国際ネットワークが広がり厚みを増すよう、将来を見据え、継続性のある取組みを進めていきます。

## 地方創生の推進

### これまでの主な取り組み

- 県の地方創生を推進するため、神奈川県地方創生推進会議を設置し、「神奈川県人口ビジョン」及び「神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定(2016年3月)しました。
- 神奈川県らしい成長産業として、未病産業の創出・育成に向けて、「ME-BYO BRAND」認定制度の創設などを行いました。また、ロボット関連産業の創出・育成に向けて、生活支援ロボットの商品化に向けた支援などを実施しました。
- 神奈川への新しいひとの流れをつくるため、「新たな観光の核づくり促進交付金」を活用して「新たな観光の核づくり」地域における先導的事業を実施しました。
- 若い世代の子育てなどの希望をかなえるため、保育所等定員の増加を図るとともに、放課後児童クラブ、放課後子ども教室、土曜日の教育活動支援事業を運営・実施する市町村に対する支援を行いました。
- 県への移住を促進するため、神奈川の魅力を紹介した映像などを作成しプロモーションを行うとともに、県内のくらしやしごとの情報を提供する「ちょこっと田舎・かながわライフ支援センター」を都内に設置(2015年12月)し、相談業務などを開始しました。
- 「かながわシープロジェクト」や「県西地域活性化プロジェクト」などの地域資源を活用した魅力づくりにより地域活性化を図るため、専用Webサイトを活用した情報発信や、モデルツアーなどを実施しました。

### 今後の取り組み

- 県内にしごとをつくり、安心して働けるようにするため、神奈川の成長力を生かした神奈川県らしい成長産業の創出などを通じて、経済のエンジンを回すことにより、安定した雇用を生み出すことをめざします。
- 神奈川への新しいひとの流れをつくるため、神奈川のマグネット力を高め、神奈川のライフスタイル、先進的な社会モデル、地域資源を活用した魅力などを発信することで、国内外からヒト・モノ・カネを引きつけます。
- 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるため、結婚から子育てまでの切れ目ない支援や女性の活躍支援を通じて、安心して結婚、出産、子育てができる環境を整えるとともに、妊娠・出産などに関する知識の普及などを進めます。
- 活力と魅力あふれるまちづくりを進めるため、未病を基軸とした取り組みや健康長寿のまちづくりを進め、超高齢社会を乗り越える社会システムを創っていきます。

## オリンピック・パラリンピック

### これまでの主な取組み

- セーリング競技開催準備のため、「神奈川県会場プラン(調整素案)」を検討しました。また、競技開催の機運を盛り上げるため、セーリング体験イベントを開催しました(2016年3月、参加者2,000人)。
- 県・関係市町・民間がエリトリア国と事前キャンプ協定を締結しました(2015年9月)。
- 県内での「文化プログラム」の実施に向けた、県内市町村との情報交換会を開催しました(2015年5月、2016年1月)。
- 東京2020大会に「神奈川県育ちのオリンピック」が40人出場することを目指し、アスリートや指導者を支援する「アスリート育成事業」を実施しました(選手20名、指導者3名、指導者講習会実施1団体)。
- 「かながわパラスポーツ」普及のため、「かながわパラスポーツフェスタ2015」を開催しました(2015年5月、9月、11月、参加者計1,350人)。

### 今後の取組み

- 「神奈川県会場プラン(調整素案)」により、関係機関との調整を進めます。また、セーリング体験会など、セーリングの魅力を発信する取組みを引き続き実施します。
- 事前キャンプ誘致に係る情報発信や各国の視察受入体制の強化など、より効果的な誘致活動を展開します。
- 2016年秋からの「文化プログラム」を着実に実施するため、今後示される国の方針を踏まえ全体的な協力体制を構築します。
- 東京2020大会への出場が有望なアスリートの育成・強化と指導者の育成を引き続き実施します。
- 東京2020大会への出場が有望なパラリンピアン候補者の育成・強化などを行うとともに、パラリンピック競技の普及・選手の発掘を目的とした競技イベントを開催します。
- 指導者育成など、地域で「かながわパラスポーツ」が継続的に実践される取組みを検討・推進します。

